



地元スポーツチームを応援しよう!

Bリーグ2021-22シーズン

青森ワッツのBリーグ2021-22シーズンが10月に開幕し、1月29日、30日には、八戸市東体育館でホーム戦が開催されます。ぜひ会場で、青森ワッツを応援しましょう!今回は、青森県出身の野里選手と駒沢選手からメッセージをいただきましたのでご紹介します。



#9 野里 惇貴 選手

今シーズンもたくさんのご声援ありがとうございます。

苦しい戦績でチームとしても厳しい状況が続いていますが、絶対諦めず自分達の目標を叶えるため、一試合一試合全力で頑張ります。

地元・八戸市の皆様、パートナーの皆様、ブースターの皆様、選手、スタッフ、フロントスタッフが一丸となりB2優勝しましょう!!今シーズンもよろしくお願いいたします!



#11 駒沢 颯 選手

今シーズンからプロ選手としてワッツの一員となりました。特別指定選手として加入した昨シーズンはプレータイムが少なく、チームの力になることができずにふがいない結果で終わってしまいました。今シーズンはスターターになるという目標を立て、そのために自分の武器であるドライブとパスを磨いています。

青森県出身選手として、青森ワッツの勝利と自分のプレーで青森を盛り上げたいと思っています。応援よろしくお祈いします。



青森スポーツクリエイション(株) ☎017-763-0551 <http://aomori-wats.jp>
八戸スポーツ振興協議会(スポーツ振興課内) ☎43-9159

新 美術館だより ⑨

固市美術館 ☎45-8338

次回展示

「持続するモノガタリー語る・繋がる・育む」

2月20日まで開催する開館記念「ギフト、ギフト、」。今回は、その次に3月19日から開催する展覧会「持続するモノガタリー語る・繋がる・育む」について紹介します。

●八戸市美術館の収蔵作品を中心とした展覧会

八戸市美術館は、八戸にゆかりのある作家や作品を中心に、絵画や書、教育版画など、さまざまなジャンルの作品を収蔵しています。次回の展覧会「持続するモノガタリー語る・繋がる・育む 八戸市美術館コレクションから」では、これらの八戸市美術館の収蔵作品を中心に展示します。また、作品だけでなく、美術館や作品に関わる人々が自身のエピソードを語る映像も展示予定です。コレクションの成り立ちや八戸の風景、人々の交流など、時間・場所・人を切り口として、作品や人々にまつわる“モノガタリ”を伝えます。

●“モノガタリ”映像撮影中

本展で公開する映像は、同館学芸員が直接本人のもとに赴き、撮影しています。作品やコレクションに関わる皆さんが実際に見て、聞いて、感じたことを語る本映像は、今後モノガタリを持続させるための貴重な資料となることでしょう。さらに、展覧会を見に来た人々が語ることで、コレクションは八戸の土地・人・未来と繋がり、私たちとともに育まれていきます。



八戸市立湊中学校養護学級生徒
《虹の上をとび船総集編Ⅱ 星空をペガサスと牛が飛んでいく》1976



福田剛三郎
《静寂》1933

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>
携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/>
Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>
Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



ホームページ



携帯用HP



LINE



「広報」「市議会だより」が閲覧可!